

社会福祉原論Ⅱ

担当教員 金 蘭九

配当年次 1年

開講時期 第2学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

- 1 福祉政策の課題について理解する。
- 2 福祉政策の構成要素（福祉政策における政府、市場、家族、個人の役割を含む）について理解する。
- 3 社会福祉をめぐる日本及び諸外国の動向について理解する。
- 4 福祉政策と関連政策（教育政策、住宅政策、労働政策を含む）の関係について理解する。
- 5 相談援助活動と福祉政策との関係について理解する。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション、福祉政策の現代的課題
2	福祉政策の課題と国際動向（社会的包摂、社会連帯、セーフティネット、その他）
3	福祉政策の論点1（効率性と公平性、必要と資源、普遍主義と選別主義、自立と依存、ジェンダー）
4	福祉政策の論点2（自己選択とパターンリズム、参加とエンパワーメント、福祉政策の視座）
5	福祉政策における政府の役割
6	福祉政策における市場の役割
7	福祉政策における国民の役割
8	福祉供給部門（政府部門、民間部門、ボランティア部門、インフォーマル部門、その他）
9	福祉供給過程（公私関係、再分配、割当、行財政、計画、その他）
10	福祉利用過程（スティグマ、情報の非対称性、受給資格とシティズンシップ、その他）
11	福祉政策と教育政策、福祉政策と住宅政策など
12	福祉政策と労働政策、震災と福祉政策など
13	福祉供給の政策過程と実施過程
14	福祉政策の国際比較
15	福祉政策の課題と展望

【履修上の注意事項】

授業前にテキストを読み、キーワードについて調べてくること。
授業後に復習しておくこと。

【評価方法】

定期試験60%、レポート20%、発表20%で評価する。

【テキスト】

社会福祉士養成講座編集委員会編『現代社会と福祉』第4版（中央法規、2015年）。

【参考文献】

厚生労働省編『（平成26年版）厚生労働白書』（ぎょうせい、2014年）。
内閣府編『（平成26年版）障害者白書』（日経印刷、2014年）。『社会福祉六法』（最新版）。